

札幌市
社会医療法人考仁会

北海道大野記念病院

寒河江 悟

2015年春に開院した外来部門である札幌西考仁会クリニック婦人科（写真1）では、「生死に関わる子宮頸癌浸潤がんを近隣地域から撲滅しましょう」という心構えで検診を行っています。

がん検診としての細胞診（液状検体採取）、コルポ診による精密検診（写真2）、積極的な細胞診・HPV併用検診の実施などが中心的取り組みです。あくまで円錐切除という最小手術で妊孕能の温存をはかる治療が可能な症例の発見に努めます。

また、最新の高性能な超音波診断装置、320列CTや3.0T-MRIの導入により、検査後ただちに画像を転送し患者様に説明を行うシステ



写真3 北海道大野記念病院の外観

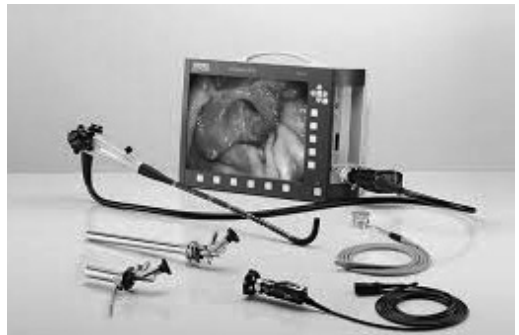


写真4-1 手術室に完備された腹腔鏡機器



写真1 西友宮の沢店にある札幌西考仁会クリニック



写真4-2 ロボット手術ダヴィンチXi



写真2 コルポ診による精密健診

ムを採用し、容易に詳しい説明が可能となっています。このことにより、手術の必要性の可否、悪性度診断などを行い、経過観察や術前診断の精度を高めるべく努力して参ります。

また、2016年10月に開院した病棟部門である北海道大野記念病院（写真3）では、広大な手術室フロアに種々の手術器機をそろえ、開腹手術を極力避け、腹腔鏡手術（写真4-1）に加えてロボット手術（写真4-2）も導入し、徹底的な低侵襲手術を心がけ、より安心安全な手術を目指しております。

国内外の最新の臨床試験の成績などの知識を駆使した抗癌剤治療や免疫療法に加えて、副作用を軽減可能かつより効果が高い先進的な放射線治療を行い、新規がん症例のみならず再発症例の予後向上につとめ、さらには患者様のQOLを最大限考慮した医療を目指しております。6階にレディースフロア、さらに婦人科がんセンターとしてオープンしております。

2016年11月現在これまでに診療してまいりましたことは、外来での細胞診・HPVの併用検診、HPV自己検診の臨床試験、コルポスコープによる精密健診、CT、MRI、PETによる画像診断に加えて、子宮頸癌早期癌症例への円錐切除術、子宮体癌早期癌への子宮悪性腫瘍手術、深部静脈血栓症の予防対策、また良性の子宮筋腫には腹式子宮全摘、腹腔鏡下子宮全摘を自己血輸血の体制で行い、卵巣腫瘍摘出術は強度癒着症例の開腹手術、腹腔鏡下手術、さらに進行・再発症例へのTomotherapyによる放射線療法、進行がん症例の緩和医療などを経験させていただいております。またがん診療を新たにはじめる当院における医師、薬剤師、看護師、さらに多くの患者さんの要望に応える人材の育成を目指した組織としてCancer Boardを設立し毎月の活動を開始しました。放射線療法センターも始まり、手術はもちろん化学療法関連の委員会も設立し、外来化学療法室の開設準備を始めたところであります。

札幌市内・道内・国内の諸先生におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。